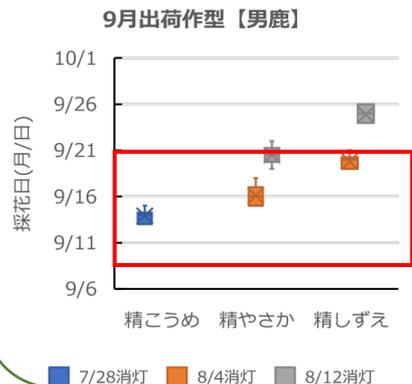
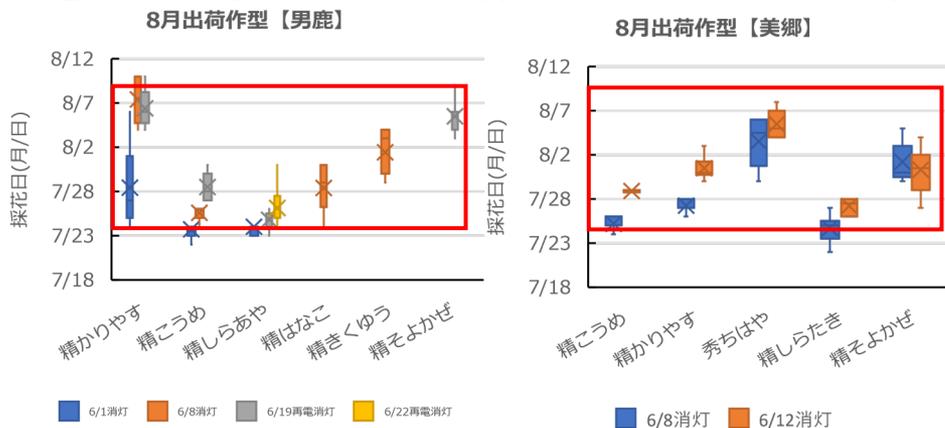


## 背景とねらい

小ギクは盆や秋彼岸の需要期において市場から計画・安定出荷を強く要求されているが、露地栽培のため気象条件に大きく左右され、開花期が不安定で需要期に確実に出荷できる技術確立が積年の課題となっている。そこで、需要期に向けた計画安定出荷技術の確立を目指し、電照による開花調節ができて安定生産が可能な品種の選定、選定品種の特性把握、現地実証試験を行う。

## 実証技術の概要

### ● 電照による精度の高い開花調節技術を利用した現地実証試験



本年度は高温の影響で全国的に開花遅延した中、電照栽培を用いた現地実証までは、**ほとんどの品種で需要期出荷**することができた。また、消灯日を複数回に分けることで収穫作業の分散化も実現した。

左図注：  
グラフの四角の上辺は全体の75%値、下辺は25%値、マーカーの上辺は最大値、下辺は最小値を示す。

グラフ中の赤四角は需要期(8月需要期：7月25日～8月10日、9月需要期：9月12日～21日)を示す

### ● 電照による開花調節できて安定生産が可能な品種選定

品種	8月	9月	備考
精しらあや	◎	×	9月は電照抑制は弱め
精きくゆう	◎	○	立茎数がやや少なめ【品種販売無】
精こうめ	○	○	2年結果で涼年データなし
精しらたき	○	△	高温性開花遅延はするが需要期内出荷可、9月は電照抑制弱め
精はなこ	○	×	電照抑制は弱め
精かりやす	○	○	草丈伸長劣る
精かさね	○	○	ポリウムがやや劣る【品種販売無】
精しはく	○	○	単年度評価
精なつか	○	○	単年度評価
精そよかぜ	○	△	電照抑制は弱め
舞人	○	×	電照抑制は弱め【品種販売無】
精あかり	×	◎	高温開花遅延小
精るこう	×	◎	高温開花遅延小
精しらいと	△	○	高温開花遅延が不安
精やさか	×	○	高温開花遅延が不安
精ひさな	△	○	高温開花遅延が不安

ピンク網掛けは8月9月に利用が可能な品種、  
◎：安定性も含め有望、○：未検討部分や不安要素はあるが有望、  
△：開花調節面で不安あり、×：需要期開花難

## 実証技術の経済性

### ●電照設備導入コスト(10aあたり)(参考事例)

電照用	項目	規格等	個数	価格	計	耐用年数	減価償却費
資材	電球	LED 8W	120	3,000	360,000	10	36,000
	電照ケーブル	10球用	12	15,000	180,000	5	36,000
	タイマー		3	10,500	31,500	5	6,300
	支柱	イボ竹	70	400	28,000	5	5,600
	マイカ線	200m	2	1,750	3,500	5	700
	延長ケーブル		3	5,500	16,500	5	3,300
計					<b>619,500</b>		<b>87,900</b>
電気料金	基本料金 (月額)	使用電力量 単価	電力(W)	時間	電力量 (kWh)	使用電気 料金	計
	1430	11.12	960	500	480	5337.6	<b>11,058</b>
合計							<b>98,958</b>
10a(31,000本)あたり							<b>3.2</b>

電照設備の導入により、1本あたり3.2円生産コストがかかると思われる。しかし、電照栽培による需要期安定生産が可能となり、需要期出荷が可能となることで有利取引が見込める。

## 経営改善効果（参考事例）

男鹿の産地では県内の仲卸業者と60cm長、30cm脱葉規格、簡易包装での出荷の契約が増加した。簡易包装とは、通常の出荷箱ではなく収穫布で巻いた形（下図）での出荷で、出荷にかかる段ボールや資材類で小ギク1本あたり2.3円（秋田県経営指標より）かかっていることから、流通経費のコストダウンにつながった。

電照栽培を行い計画生産の確実性が高まることで、契約販売による価格の安定化にもつながる。



## 期待される効果

本年度の秋田は7月中旬から9月下旬まで非常に高温で推移したことから開花遅延し、需要期出荷できない生産者もいたが、電照栽培ほ場では一部の品種を除き、このような気象条件でも需要期出荷ができた。そのため、本技術と技術にあう品種の普及により安定した需要期出荷が見込めると考えられる。

しかし、市場から小ギクは赤、白、黄色の3色が求められているため、今後、電照により開花調節が可能で高温開花遅延しにくい品種選定を進める必要がある。

### 電照導入

- ・開花調節
- ・開花斉一性向上



### 計画生産の実現

- ・需要期出荷による単収向上
- ・機械導入等作業の効率化
- ・産地の信頼度アップ



問合せ先：【秋田県農業試験場】